



きすげ

令和4年4月8日

4月号

府中市立浅間中学校
校長 山本 周一

☎ 042-360-0031 FAX 042-334-0945 www.fuchu11c.fuchu-tokyo.ed.jp/

【入学式 校長先生のお話】

桜の花も皆さんの入学を待ちかねていたかのように校庭を彩っているこの良き日に、保護者の皆様のご列席を賜り、令和四年度入学式を挙行できますこと、心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん入学おめでとうございます。そして新入生の保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。今、名前を呼ばれ、緊張しながらも返事をする皆さんを見ていると、これから始まる中学校生活への期待と不安が見受けられます。

新入生の皆さん、本校の先輩方は、素直で優しく、皆さんの入学を心待ちにしていました。きっと優しく導いてくれると思います。安心して学校生活をスタートしてほしいと思います。入学にあたり、私から二つのこととお話ししたいと思います。



一つ目は、「振り返って考える」姿勢を大切にしてください。皆さんは、これからの学校生活で、各教科の学習、部活動、生徒会活動など、様々な教育活動に取り組むことになります。

小学校の時にも増して、生徒の皆さんの一人一人が自分で考えて提案する機会が多くなり、果たすべき役割が大きくなると思います。

委員会活動では、委員会での話を学級の皆さんに伝えるときに、どのようにしたら学級の仲間が理解しやすいかを工夫する。そして

その伝え方を振り返ってみてもっといい方法はなかったかを考える。部活動などでは、技術を磨いたり、チームとしてまとまりを作るために工夫する。練習や試合について振り返るなど、いろいろな場面で、振り返る機会があります。「振り返り、もっといい方法はないか、どうすれば失敗しなかったか」などを考え改善することが自分自身を向上させるチャンスとなります。

二つ目は、「自立する」ということを意識してほしいと思います。皆さんは、十八歳で成年となります。成年となることによって自分で判断できることが増えます。これまで保護者の皆さんが手伝ってくれていたことも自分の責任で行っていかなければならないわけです。しかし、十八歳になったら自然とそのような力が湧いてくるわけではありません。

これからの5年間で社会の中の一員として自立していくための基礎を身に付けて、いく必

要があります。誰かが教えてくれることもあるかもしれませんが、自分で意識して取り組み身に付けていくことが大切です。まずは人間関係作りです。初めて出会った人に自分を理解してもらい、そして相手を理解する。そのために自分の意見や考えを伝えることと、友達の考えをしっかりと聞くことが大切です。そしてコミュニケーションをとる際の言葉の使い方、声をかけるタイミングなど工夫する点が多くあります。入学して、初めに行うことが、まさに学級の仲間を知り、そして自分を知ってもらうことです。

次に情報を正しく判断するということです。今は様々な情報があふれています。その中には、正しい情報があれば誤った情報もあります。そのようなあふれている情報の中から正しいものを選択できる力が大切です。ぜひ中学校3年間の中で自立に向けた基礎作りに取り組んでください。

結びに、保護者の皆様、地域の皆様、生徒は地域の財産です。私共教職員一同は、生徒・保護者・地域から信頼される学校を目指して全力で教育活動に取り組んでまいります。

しかし中学校三年間は極めて多感な時期であり、心身ともに成長する時期です。小学校の時に比べ、勉強や友達関係などで、思い悩む姿も多くなるだろうと思います。また、反発することもあるかもしれません。そのようなことがあったとしても、しっかりと受け止め、温かく成長を見守っていただきますことをお願い申し上げます。式辞といたします。

令和四年四月七日

府中市立浅間中学校長 山本 周一

学校からの連絡

今年度の入学式は桜の花びらが舞う中で挙行されました。新入生を迎え、新しい息吹を吹き込んでくれました。天候にも恵まれ校庭でクラス写真を撮影することができました。

これから3年間、いろいろな体験を多くの仲間と一緒に過ごしながら、楽しくたくさん力を付けてもらいたいと思っています。教職員一同、保護者の皆様と一緒に力を合わせて、生徒の成長を応援していきます。どうぞ、よろしく願いいたします。